

文化・芸術

〈名画の扉〉

大川美術館常設展から

大川美術館は現在、念頭に、自身の感覚で全館休館中ですが、来コレクションを続けて年1月16日から始まる企画展「広島市現代美術館所蔵作品を中心に Part 2 70年目の原爆の図」にあわせ公開される常設展の一室をご紹介します。

こちらの展示室では、桐生在住のS氏のコレクションを展示しています。S氏は、大川美術館創設者・大川栄二の薫陶を受け、およそ20年前、駒井哲郎の版画作品を初めて購入したことをきっかけに、現在も現代美術のコレクションを続けています。

S氏は「自分の部屋に飾る」ということを

S氏の現代美術コレクション



に、自身の感覚でコレクションを続けてきました。そうして集められたオノサト・トシノブ、鬮嘸、阿部展也、杉全直、駒井哲郎、荒川修作、河原温、中西夏之、そして舟越直木らのペーパーワークを中心にとするコレクションを紹介するこの展示室では、1960年代から20世紀末までの現代美術の一つの断面をみることができます。

(池田)

※大川美術館は、空調設備の改修工事と展示替えのため、12月14日(月)～2021年1月15日(金)を休館とさせていただきます。